

2014年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます



公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯 090-2260-0671

Eメール: yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス: yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索



ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

教室だより 11月号

失敗から学ばせる

「悪いことをしたら素直にあやまりなさい」というしつけは、多くのご家庭でされていることと思います。子育てに熱心なお母さんほど、子どもが失敗すると、ついカッとしてしまって、まずあやまらせることに気持ちがいつてしまいがちです。本来しなければいけないことは、同じ過ちをくり返さないようにすることではないでしょうか。そのためには、3つの手順があると思います。

ひとつ目は、失敗の結果起きてしまった事態をなるべく早く收拾すること。ふたつ目は、同じ過ちをくり返さないためにはどうすればいいのかを考えさせること。そして、3つ目が謝罪の言葉です。

例えば、家の中でボールを投げてガラスを割ってしまったなら、叱る前に、とにかくガラスを片づけます。そして、原状回復したところで、「どうしたら、これからはガラスを割らないようにボールで遊べるかな?」と聞きます。子どもがなかなか考えつかなければ、お母さんが少しずつヒントをあげ、子どもと一緒に複数の選択肢を考えて、子ども自身が選ぶように導きます。そして最後に、失敗した責任を取らなければなりません。この場合、どんな責任の取り方があるでしょう。例えば、お父さんが帰ってきたら報告するということです。ひとりではできないようなら、助け舟をだしてあげましょう。

ここで大事なことは、「でも、ごめんなさいと言うのはあなたよ」とはつきりさせておくことです。

公文式の創始者・公文 公(くもんとおる)先生の言葉より

“本好きにするには、まず「読み聞かせ」から”

本好き、読書好きの子どもを育てるスタートは「読み聞かせ」から始まります。

絵本や童話を読んでもらうたびに、子どもは、自分の中でいろいろな新しいことに気づく能力を育てていきます。その本の内容をすでに知り、ほとんど暗記していても、何回でも「読んで」とせがみます。そして、次はこうなるという物語の展開を予測していくことができるようになるのです。

本の中には、豊かな言葉とともに、子どもたちが生きていくために必要な知識や情報がたくさんつまっています。読書する力が身につけば、その本の内容を手がかりとしながら自ら考え、ものごとの本質を洞察できる力、周囲の状況を考慮しながら自分の進むべき道を判断する能力が養えます。そうなれば先々の勉強はもちろんのことですが、人間性も豊かになり、ゆるぎない人生観のもと、社会に役立つ人間として充実した人生を送ることができます。

そのためにこそ、少しでも早い時期に本に親しんでほしい、と公文式は考えています。

2014年 11月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 <small>文芸の日</small>	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 <small>新習熟の日</small>	24 <small>新習熟の日</small>	25	26	27	28	29
30						

本市場教室日□

横割教室日△

今月のことわざ

馬耳東風

人から何を言われても聞きながして、まったく気にも止めないこと。

◆馬の耳に、東からふくあたたかい春の風がふいてきても、馬は少しも気に止めないでいることにたとえたことば。

「テレビに夢中の妹には、何を話しかけても、馬耳東風だ。」

「弟は、どんなに注意しても馬耳東風で、いつも服をぬぎっぱなしにしている。」
くもん出版刊「四字熟語カード」より

*ゆき子の一言コラム

筆箱の中を見てみましょう。

子どもの筆箱の中を見ると、その子どもが、どんな勉強をしているかを想像することができます。時には、性格や、日常生活までも見えてくることさえあります。

筆箱には、子どもたちにとって大切な筆記用具が入っています。実は、この筆箱をきちんとしているかどうか、筆記用具、文房具類がきちんとそろっているかどうか、整備されているかどうかという点は、成績と相関関係があるのです。成績が不振、勉強が不得意な子どもの筆箱には、必要な筆記用具がそろっていないことが多いものです。中にはシャープペンシルが一本だけ…。消しゴムはどこかに落としてしまっただけだったり、細かくちぎってしまっただけ、ポロポロ…。鉛筆は芯が折れて、その芯を出そうと、手でむしっていたり、上の方は歯で噛んだ痕がある…。まさに同情したくなるような、かわいそうな文房具たち。そんな筆箱の持ち主は、まず勉強ができません。成績がよくありません。

しかし、本当は「勉強が不得意」といっても、勉強をしないで、怠けたり、さぼっていることの方が多いのです。勉強しようとしても、必要な用具がそろっていなければ、気持ちは学習内容から別の方へと向かいます。

「あっ、間違えた…」と消そうと思ったけど、消しゴムがない。散乱している机の上を探してみるけど、見つからない。机の下を見てみるけど、ない。そう言えば、昔使っていた消しゴムが、引き出しに入っていたかも知れないと、ひっくり返して探してみたら、別のおもちゃが出てきて、いつしか、おもちゃで遊んでいる…。そこへお母さん登場。

「あなた、何やってるの!」「消しゴム探してるの…」これでは、勉強になりません。

筆記用具をそろえることは、学習環境を整える意味ではとても大切なことなのです。

その重要性が分かっている子どもは、きちんと整理ができています。

しかし、いくら、親や大人が、何度も筆箱をチェックして、あるいは筆記用具を準備して、本人の知らないところで、整えてあげたとしても、子どもにとって、「勉強するためには大切なことなのだ」という自覚がなければ、自分で準備したり、整えたりすることはできるようにはなりません。つまり、大人が準備するだけではだめだということです。ですから、文房具の大切さを熱く語ってください。そして、きちんと筆箱を整理し、不足したものはすぐに補充することを約束させてください。鉛筆、消しゴム、定規、赤ペン、色ペン、(コンパス、シャープペン、芯)…。これらが常に準備され、使えるようになっていなくてはなりません。

雑然とした机で、中がほとんど殻の筆箱では勉強できません。

「ほら、早く解きなさい」ではなくて、きちんと学習環境を整えてから勉強させましょう。

そして、学習環境を整えることの大切さを教えましょう。

初めは大変でも、何度も何度も、繰り返し教えているうちに、きっと子どもは理解するはずです。

自分で管理ができるようになったとき、学力は以前よりぐーんと伸びているはずです。

保護者の皆様へ

平素は公文式学習にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、公文式教室では、下記の通り「11月無料体験学習」を実施いたします。

公文式学習の大きな目的は自分から学習する力を育てること。

「自分でできた!」の体験は子どもたちに大きな自信を与えてくれます。

新しい教科にチャレンジして、ぜひ得意な教科を増やしてください。

入会を検討されているご兄弟・姉妹の方がいらっしゃいましたら、ぜひ無料体験学習にご参加ください。

また、お知り合いの方へ公文式学習をご紹介いただければ幸いです。ともに学習する存在は子どもたちにとって大きな励みとなります。

★ 11月無料体験学習のご案内 ★

学習期間 : 11月13日(木)~11月30日(日)

期間中、2週間で計4回、公文式学習を体験していただけます。

費用は無料ですので、お気軽にご参加ください。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

11月分の会費引き落としは10月28日(火)です。よろしく願いいたします。(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。最近 教室からお迎えの電話をする子で、電話代を置いていかない子がいます。大家さんから電話代が足りないと苦情がありました。お迎え電話を教室からする子には必ず電話代10円を持たせてください。